



ヤング・プレミアムコンサート

出演アーティスト スペシャル・インタビュー

なかぎり

のぞみ

こばやし

みき

みなみ

しおん

中桐 望 (ピアノ) × 小林 美樹 (ヴァイオリン) × 南 紫音 (ヴァイオリン)

平日の爽やかな午前に若手女性アーティストによるリサイタルをお届けするシリーズ、ヤング・プレミアムコンサート。

確かな実力と輝く美貌を放つ彼女たちに、会場となるザ・シンフォニーホールにて、演奏される曲目に対する想い、シリーズへの意気込みなど、たっぷりと語っていただきました！

聞き手・文：小味潤彦之 写真：山本成雄

ザ・シンフォニーホールについて

— 南さんは何度かザ・シンフォニーホールで演奏されていますが、小林さんと中桐さんは初めてですね。ホールの印象を聞かせてください。

南 今までオーケストラとの共演だったので、今回初めて何も置かれていないホールを見て、全然違った印象を持ちました。舞台袖にある色々な方のサインやオーケストラのステッカーを見て、こんな沢山の素晴らしい方が立った舞台に立てるんだと思うと、身の引き締まる思いです。

小林 入った瞬間に本当にきれいなと。まず、びっくりしたのが、客席との近さです。こんな近いホールは他にあるのかなと思いました。

中桐 立派で大きなホールというイメージがあったんですけど、舞台と客席の一体感を感じました。私はお客様との距離感が近い方が好きなので、アットホームな雰囲気演奏できそうです。

「ヤング・プレミアムコンサート」への出演

— 若手アーティストの活動をサポートする、この「ヤング・プレミアムコンサート」という取り組みについて、どのように感じられますか。

南 こうしたお昼のコンサートで、ザ・シンフォニーホールのような大きなホールで演奏することは、聴いてくだ

さるお客様にとっても、演奏する私たちにとっても、贅沢な空間になると思いますので、とても楽しみです。

小林 いくら練習してきても、発表できないと意味がないので、お客様に自分の練習してきた成果を、聴いていただける場所をいただけたということが、本当にうれしいことだと思っています。

中桐 こういった由緒のある立派なホールで演奏するチャンスが、なかなか若手にはないので、素晴らしいホールで演奏することで、私たち自身も学ぶことが沢山あります。大変貴重な機会をいただくことができて幸せだと思います。

— 平日の午前中、しかも休憩なしの1時間という演奏会ですが…。

小林、中桐 私たちは初めてです。

南 私は2回ほどランチタイムのコンサートをしたことがあるんですが、夜の演奏会とは違った層のお客様がいっぱいやって印象がありました。いつもは来られない方にも、足を運んでいただくよい機会になると思います。

— 今回の「ヤング・プレミアムコンサート」、出演者の皆さんのお話を交えてという形になるのでしょうか？

ホール担当者 自由です！

— 最近はお話が入る演奏会も増えてきましたが、皆さん方はこれまでいかがでしたか？

中桐 私はしゃべった方が落ち着くんです。

小林、南 すごーい。

中桐 ピアノはいつも横を向いて弾いていますから、対面でコミュニケーション



南 紫音 (ヴァイオリン)



小林 美樹 (ヴァイオリン)



中桐 望 (ピアノ)



ンを取る手段はトークなんです。お客様の反応を感じたり、少し雰囲気はほぐれるように面白い話を考えてお話しすると、お客様が笑ってくれたり、次の曲に興味を持ってくださったりというところが、ダイレクトにわかるんです。それが自分にとって安心材料にもなります。

南 私もうした機会が増えてきたのですが、中桐さんとは対照的に、話すことの方が緊張するぐらい苦手だったんです。でも、先日子どものための演奏会があって、舞台の上にお子さんが上がってくる場面があったんですけど、「この曲聴いたことある」なんていう感想を側で聞くこともできて、とても素敵だなと思いました。

小林 私も南さんと同じで、話すとなると、演奏前からそのことばかりが気になってしまふんです。いざ話すと覚悟を決めれば大丈夫なんですけど…。実は、お客様の反応を感じながら演奏するのも楽しいなと、この間、少しだけ思いました。だから、ちよとずつ、取り入

れていたらなど。

プログラムにかける 意気込み

— それぞれのプログラムについてお聞かせください。

南 お昼のコンサートということですが、気軽に楽しんでいただければと思います。今回プログラムに入れたシューベルトのヴァイオリン・ソナタ（D574）は、初めて取り上げます。実は、今までシューベルトには苦手意識があったんですが、実際にドイツに行つて興味を持ちました。フランス音楽のように洒落た音楽ではないのですが、響きを積み重ねてゆく作品だと思っています。

小林 ランチタイムコンサートなので、あまりなじみのない方が来られるということと考えたときに、長い曲をやるよりは、小さい曲の方が楽しいと思つて並べてみました。3年前にヴェニエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンク

ルで賞をいただいたので、その思い出もあつてヴェニエニヤフスキの曲を入れています。アンコールピースのような曲が多いので、色々な形の曲を楽しんでもらえるのではないのでしょうか。

中桐 私の好きな作曲家ベスト2のショパンとラフマニノフの作品から、誰もが知っている名曲を中心に選曲しました。この秋から、ポーランドに留学するので、その成果も披露できたらいいなと思います。

お三方とも、終演後に開かれる、お客様との交流イベント・パーティー（プラチナシート購入者対象）も含め、「ヤング・プレミアムコンサート」への出演を心待ちにしているとのこと。ミュージズたちのザ・シンフォニーホールへの登場を心待ちにしたい。

ヤング・プレミアムコンサート

各回全席指定 ¥2,000 プティット・パーティー付プラチナシート（限定100席）1回券 ¥3,500 / 通し券 ¥9,000
※プラチナシートは、ザ・シンフォニー チケットセンターのみでのお取扱いとなります。

vol.1 2015.1/23(金) 11:00AM

[ヴァイオリン] 南 紫音
[ピアノ] 三又 瑛子



チャイコフスキー：ワルツスケルツォ
バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 ©Shuichi Tsunoda
シューベルト：ヴァイオリン・ソナタD574
パラディス：シシリエンヌ
ラヴェル：ツィガーヌ

vol.2 2015.2/27(金) 11:00AM

[ヴァイオリン] 小林 美樹
[ピアノ] 小森谷 裕子



クライスラー：前奏曲とアレグロ
ヴィターリ：シャコンヌ
ワーグナー：ロマンツァ
ヴェニエニヤフスキ：ポロネーズ プリランテ
スケルツォ タランテラ
マスネ：タイスの瞑想曲
ウィリアムズ：シンドラーのリスト
プロッホ：ニーゲン モンティ：チャールダーシュ

vol.3 2015.3/25(水) 11:00AM

[ピアノ] 中桐 望



ラフマニノフ：前奏曲「鐘」
リラの花
ショパンの主題による変奏曲より
ショパン：雨だれ
黒鍵のエチュード
革命のエチュード
英雄ポロネーズ

9/19(金)優先

9/20(土)一般

[ご予約・お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333